



そら・うみだより 第7号



令和5年11月24日
北区立さくらだこども園

秋が深まり、冬が近付いていることを感じる季節になりました。子どもたちは、元気に体を動かして遊ぶことを楽しんでいます。鬼遊びや、サッカーなどをして遊ぶ中で、走ったり、ボールを投げたり、蹴ったりするなど、様々な動きをしています。幼児期は多様な動きをすることが大切とされており、様々な動きを経験する中で、姿勢の維持やバランス感覚などが身に付いていきます。引き続き遊びや生活の中で、楽しみながら、様々な体を動かす経験を重ねられるようにしていきます。

割りピン人形

運動会を終えて経験画を描きました。絵を描く前は「描けない」「難しい」と苦手意識をもつ子どもも多く見られました。また、顔は描くことができても、身体まで描くことを難しく感じる姿も見られました。そこで、全身を描いて割りピン人形を作ることにしました。改めて、自分の身体の部位や形、位置などを確認し、意識しながら描いていきました。また、腕や脚の紙を重ねて目打ちで穴を開けて、割りピンを刺し、動かせるようにしました。紙を重ねて穴をあける作業も、紙の端ぎりぎりに穴を開けると、割りピンを刺したときに紙が破れたり、紙を重ねても穴を開ける場所によっては、後ろの紙に穴が開いていなかったりなど“割りピンの仕組みを理解してつくる”ことが必要です。うまくいかない経験をしながらも、徐々に穴を開ける位置や紙の重ね方などを考えて作る姿が見られるようになりました。でき上がると、人形の手足をいろいろな形に動かして面白いポーズをとって楽しんでいました。



こども園公開をご参観いただき、ありがとうございました。

先日のこども園公開では、たくさんの方にご参観いただき、ありがとうございました。サッカー体験や生活発表会に向けた取り組みだけでなく、好きな遊びや給食など、日頃の子どもの姿も見ただきました。また、たくさんのご感想、ご意見をありがとうございました。一部ですが、ご紹介いたします。

- お友達と協力しながら、係の仕事に取り組めていて、成長を感じた。
- 先生の話聞いて、次何をやるのか把握して動いている様子を見ることができた。
- いろいろなことを経験することで自分で考え、行動できるようになってきているなど改めて感じた。
- サッカー体験では、基礎的な動きから、実践まで指導していただき、子どもたちにとって素晴らしい経験になっていると感じた。



<そら組>

おたんじょうび おめでとう!

<うみ組>

お話作り

〈そら組〉

絵本の読み聞かせの時間を毎日楽しみにしているそら組の子どもたち。絵本の読み聞かせが終わると、「きっと〇〇だったんじゃない?」と登場人物の気持ちを想像したり、「もし〇〇だったらどうする?」と想像を膨らませたりして余韻を楽しむ姿が見られます。ある日、『どろぼうがっこう』の絵本を読むと、繰り返し出てくる台詞を一緒に言ったり、話の中のやりとりを面白がったりして夢中になって絵本の世界に入り込んでいました。そこで、「もし、みんながどろぼうだったらどうする?」と問い掛けると、自分が登場人物になったつもりで、様々な考えが出てきて、『どろぼうがっこう』ごっこが始まりました。お話ごっこで楽しみながら、学級みんなの考えを少しずつ取り入れ、そら組バージョンの『どろぼうがっこう』のお話ができあがりました。

〈うみ組〉

うみ組の子どもたちはお話ごっこが大好きで、これまで「プレーメンのおんがくたい」「かにむかし」「ももたろう」の絵本を読んでは、お話ごっこをしてきました。どのお話も楽しく遊んできた子どもたちは、どれか一つに決めることが難しく、これらのお話をもとにオリジナルの話をつくることにしました。まずは、この3つのお話に出てくる悪者を何にするか、そして仲間になっていく動物や結末などを考えて『ねこどん、ひめをたすけにいく』というお話ができました。

両クラスとも学級のみんなで話し合う中で、意見がまとまらないことが多々あります。「〇〇がいい!」「〇〇は嫌だ。△△の方がいいよ!」など、一人一人の思いや考えは異なります。学級のみんなの考えを一つにまとめることは簡単なことではありませんが、お話作りをする中で、様々な考えを知り“友達の考えを取り入れたらもっと面白くなった”という経験や、友達に認められた嬉しさ、みんなで考えてつくったという達成感などを感じられるように取り組んでいます。



友達との関わりの中で、様々な考えを知ること、異なる意見をどうするか考えることは、これからたくさんの人と会う子どもたちにとって、とても大事なことです。学級みんなで作ったお話が、どのような劇遊びになるのか、どうぞお楽しみに!

互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げる。

3 協同性

経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりして楽しむ。

9 言葉による伝え合い